

【議会報告】 令和4年度 坂戸市議会定例会

小澤 弘 議員 記

【令和4年3月 第1回坂戸市議会定例会】

(令和4年2月21日～令和4年3月16日)

*令和4年度坂戸市一般会計予算を議決する。

当初予算額 310億200万円で前年度より21億7,200万円の増であり、人口一人当たり31万円の予算です。

皆様の納める市税額は、人口一人当たり13万4,000円であり不足する財源は、交付税・基金・市債等で賄われます。

《主な事業》

1. だれもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり

*「国民健康保険事業(特別会計繰出金)」
保険給付費等を負担する

*「介護保険事業(特別会計繰出金)」
介護保険給付費等を負担する

2. 将来を担う子どもたちを応援するまちづくり

*「子ども医療費支給事業」
出生から中学校修了までの児童の医療費の無償化を実施する

*「学校コンピュータ整備事業」

小・中学校のパソコン機器等借り上げ、全クラスに電子黒板を導入する

3. 地域の活力を高め、快適な環境を創造するまちづくり

*「農業振興事業」

農業次世代人材投資資金の交付や認定農業者が経営改善するための助成、農業振興ビジョンを策定する

*「閑間千代田線整備事業」

街路築造工事等を実施する

以上、主な事業を進めるとともに、新型コロナ

ウイルス感染症対策に万全を期し、子育てがしやすい環境整備、きめ細やかで質の高い教育の提供、超高齢化社会への対応、自然災害への対策強化、都市基盤の整備など、市民ニーズを十分に見極め、選ばれ続けるまちづくりに取り組み、幅広い分野において、市民サービスの向上に努める内容の当初予算です。



予算決算常任委員会 委員
市民福祉常任委員会 委員
広報委員会 委員長
議会改革委員会 委員
坂戸、鶴ヶ島下水道組合議会
議長

小澤 弘 議員

【令和4年6月 第3回坂戸市議会定例会】

(令和4年5月31日～令和4年6月22日)

*「令和4年度坂戸市一般会計補正予算(第3号)を定める件」

補正予算の額は、4億8,221万9千円で、補正後の予算総額は、316億1,928万6千円となる。

主な内容は、学校給食費補助事業・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業・新型コロナウイルスワクチンの4回目接種等の予防接種実施事業などである。

【令和4年12月 第5回坂戸市議会定例会】

(令和4年11月22日～令和4年12月14日)

*「令和4年度坂戸市一般会計補正予算(専決第1号)」

補正予算額は、2億283万5千円で、補正後の予算額は、346億1,058万6千円となります。

主な内容は、地方創生臨時交付金による物価高騰対策費や新型コロナウイルスワクチン接種対策事業への補助金等です。

*「坂戸市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例制定の件」

この条例は、坂戸市職員の定年を2年に1歳づつ段階的に引き上げる条例です。

*「令和4年度坂戸市一般会計補正予算(第6号)」

補正額は、8億1,543万8千円で、補正後の予算額は、354億2,602万4千円となります。

主な事業は「出産準備金」、内容は、妊娠・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう経済的支援を行うものです。具体的には、妊娠届出時に5万円、出生届出時に5万円を支給する事業で、令和4年4月以降に出産した方に併せて10万円を支給します。

【一般質問の報告】 命を救うAED取組、人と動物との共生社会等

田中 栄 議員

【令和4年6月 第3回定例会】

1. 気兼ねなく外出できる環境づくりについて

膀胱がんを公表したキャスターが、「男子トイレに汚物入れを」と声を上げた、大人のオムツを廃棄するトイレへの大型汚物入れの設置を問い合わせました。市では、すべての公共施設の男性トイレに大型サニタリーボックスの設置に取組んでおり、女性トイレにも設置を進めると答弁いただきました。

2. 大人の予防接種について

男性の風疹ワクチン接種一対象者数12,929名に対し、受検者数は2,971名です。

60～40代の男性の皆さん、娘さんや女性社員のために、無料の今！接種を受けてください。

帯状疱疹ワクチン接種一「県内で、4市町が

助成しているので、坂戸市も！」

に対し、「帯状疱疹後神経痛や難聴、視力低下など長期の後遺症があるので、

帯状疱疹のワクチンも補助する方向で検討してまいりたい」と市長答弁！



【令和4年9月 第4回定例会】

人と動物との共生社会を目指すことについて

私は、平成30年に動物愛護について、平成31年3月に猫が引き起こす環境問題について一般質問しました。その後、元年6月19日に議員立法による改正動物愛護管理法が公布され、本市においても元年7月、公益財団法人どうぶつ基金のさくらねこ無料不妊手術事業行政枠が開始され、地域猫活動も始まりました。

た。また、令和元年台風第19号において、ペットの同行避難が本市においても実施され、人も動物も命を救う取組がなされました。

事業開始からの無料チケット総数は、本年9月1日現在で611枚。市の費用負担はありません。

坂戸市との協働ボランティア団体は、TNRのための移送費や治療代などで持出しが多く、また、避難スペースとしても、活用できるドッグラン整備等に、自治体クラウドファンディングを提言しましたが、今回は認められませんでした。



みんなに知ってほしい
『さくらねこTNR』
公益財団法人どうぶつ基金



総務文教常任委員会 委員長
予算決算常任委員会 委員
議会運営委員会 委員
坂戸・鶴ヶ島消防組合議会 議員
坂戸地区衛生組合議会 議員

田中 栄 議員

【令和4年12月 第5回月定例会】

AEDで命を救う取組について

小・中学や公民館、保育園など71の公共施設と3法人のコンビニエンスストア24店舗に設置済み。全てのコンビニエンスストアに設置できるよう努め、公共施設においては誰もが常に使用できるよう、順次屋外設置を進めているとのこと。また、市民主催のイベントへの貸出しも行う考えです。

これからは、自宅の周辺や、自分が利用する施設のどこにAEDがあるのか、日頃から確認しておくことが大切です。

そして、普通救命講習会などを受講し、実際に使えるようにしていただきたいです。

配備がすすんだAEDを適切に使って、命が救われる時代にしていきましょう。

